

# 令和5年度全国学力状況調査より



本年度、6年生において実施された調査の結果（国語科・算数科・学習や日常生活に関する質問）より、その成果と課題等については、教職員で共通理解を図ってまいりました。今回、国語科・算数科における本校のおおまかな傾向についてお知らせします。

## 【国語科】

本校の国語科の正答率は、県および全国の平均正答率を上回りました。

特に、「読む力」を問う問題や「話す・聞く力」を問う問題について、良好な結果となりました。これは長年、朝学習の時間帯に「読書タイム」の時間を設けていること、自分の意見を話したり友だちの意見を聞いたりする活動を意図的に仕組む授業づくりを進めていることなどの成果の表れであると考えます。

一方で、「書く力」を問う問題では、県および全国平均を下回りました。

今後、いくつかの資料を読み取りながら自分の考えを書いたり、ある条件設定の中で自分の考えを書いたりするような学習を進めてまいります。

## 【算数科】

本校の算数科の正答率は、県および全国の平均正答率を上回りました。

特に、「数と計算」の領域の問題については、良好な結果となりました。

今後も、計算カードや九九カードに取り組んだり、立式や計算の方法について自分の考えを書く時間を意図的に設けたりしながら、基礎学力のさらなる向上を目指してまいります。

一方、「図形」の領域で、台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる問題については、県および全国の平均正答率を下回りました。

今後の図形の学習では、具体物を操作する時間や作図の仕方を筋道を立てて説明したりする時間を大切にしながら進めてまいります。

## 3つタイのお話

「子どもの心には、三匹の鯛がいる」という言葉があります。

- ★1【褒めてもらいタイ】…「よくできたね」
- ★2【認めてもらいタイ】…「ここまでよく頑張ったね」
- ★3【役に立ちタイ】…「ありがとう」「助かったよ」

子どもは、この3つのタイが大好きです。

私たち大人が、子どもたちの「小さな成長」「小さな変化」「小さな挑戦」に気づき、ほめたり認めたりすることで、「役に立ちたい」という気持ちが芽生えてくるようです。

2学期も後半に差し掛かりました。この3つの視点を大切にしながら子どもたちに寄り添い、成長を見届けていきたいと思っております。

